

## (5) 伊予ブロック (伊予市、松前町、砥部町)

### ～産地づくり～

県都松山市に隣接し、市場だけでなく産直市や、観光農業、通信販売等、多様な販売チャンネルの活用が見込めるため、消費者ニーズを捉えた多様な野菜・花き類や地域ブランド製品の生産振興による産地づくりを目指します。水田農業では、新品種の導入や品質向上を図る一方で、コスト削減や省力化に努め、集落ぐるみで産地育成を推進します。また、果樹では、環境に配慮した栽培管理や鳥獣被害防止にも取り組みながら、地域経済を支える基幹産業として足腰の強い競争力のある産地の確立を目指します。

### ～推進品目や産地づくりの方向～

#### ○収益性の高い水田経営の推進

##### 1 水稲・はだか麦の優良種子の安定生産

###### 【取組】

- ① 優良種子を生産するための技術向上研修会や穂肥講習会の開催
  - ・技術向上研修会(水稲及びはだか麦：3か所/2回〔5、10月〕) [図1]
  - ・穂肥講習会を開催(水稲：2回、はだか麦：1回〔7、8、2月〕) [図2]
- ② 採種ほ場の出穂期・成熟期の審査を通じた優良種子の確保

###### 【成果】

- ① 生産者の採種栽培技術の向上
- ② 令和7年産における県内で必要な種子量を確保

###### 【水稲】

	R7年播種用	(R6)	(R5)
品種数	6	6	5
生産量(t)	143	153	161

###### 【はだか麦】

	R6年播種用	(R5)	(R4)
品種数	1	1	1
生産量(t)	77	65	71

##### 2 水稲新品種「ひめの凜」の普及拡大

###### 【取組】

- ① 産地化に向けた現地実証ほの設置や栽培講習会の開催
  - ・中間流し込み液肥施用の実証(1か所：松前町)
  - ・栽培講習会を開催：3回(4、7、8月) [図3]
- ② 栽培者の確保および認定栽培者制度により食味向上の取組を徹底

###### 【成果】

- ① ハイクオリティ以上の比率：75% [R5：90%]
- ②
  - ・栽培戸数：76戸 [R5：75戸]
  - ・作付面積：74ha [R5：62ha、R4：57ha、R3：34ha]

##### 3 はだか麦「ハルヒメボシ」の高品質安定生産

###### 【取組】

- ① 品種特性に対応した栽培技術の普及や後期重点施肥技術の導入により平均単収の向上
- ② 基肥減量と生育中期(1月)の中間追肥による実証 [図4]

###### 【成果】

- ① R6年産平均単収：283kg
- ② 肥料実証ほ場の収穫量・品質を把握

	R6	(R5)	(R4)	(R3)
平均単収 (kg/10a)	283	370	310	405
1等比率 (%)	14	4	12	39

##### 4 小麦「シロガネコムギ」の導入

###### 【取組】

- ・肥料実証ほの設置による小麦栽培の導入及び品質向上の推進
- ・裸麦から小麦への作付転換を啓発 [図5]

###### 【成果】

- ・R6年産小麦の作付面積：40ha (R5年比：89%)
- ・肥料実証ほ場の収穫量・品質を把握

	R6	(R5)	(R4)	(R3)
平均単収 (kg/10a)	318	420	431	—
1等比率 (%)	0	94	17	—



[図1] 種子生産技術向上研修会



[図2] 採種ほ穂肥講習会



[図3] 中干し講習会



[図4] 実証ほ生育調査



[図5] 小麦の収穫

## ○果樹の高品質安定生産によるブランド力の向上

### 1 愛媛果試第48号「紅プリンセス」の品種特性調査

#### 【取組】

- ① 魅力ある中晩柑産地づくり会議の開催(2回：5月、3月)
- ② 伸縮性被覆資材による日焼け対策実証ほの設置[図6]

#### 【成果】

- ① 甘平2か所、紅プリンセス2か所で実証調査することを決定
- ② 果実被覆袋等の使用により、日焼け果の発生が約6割低下

### 2 「甘平」の裂果及び隔年結果対策による安定生産の確保

#### 【取組】

- ① 裂果軽減対策として電磁弁を利用した多頻度かん水実証ほの設置[図7]
- ② 隔年結果軽減対策のため、半樹別と大枝別摘果の実証ほの設置

#### 【成果】

- ① 1日3回のかん水で裂果率：88.1% ※多頻度区(対照区：88.7%)
- ② [・摘果時間の短縮(39%減)  
・隔年結果の軽減(着果量5年比：102%)

### 3 キウイフルーツの産地強化

#### 【取組】

- ① 生産性向上のため、老木園の改植推進とモデル園の設置[図8]
- ② 苗木導入者への個別巡回や、早期成園化を目指した栽培管理の指導

#### 【成果】

- ①② 改植・新植面積3.6ha、1,026本の苗木を植栽
- ② 苗木モデル園樹冠占有面積：51%



【図6】日焼け対策実証



【図7】設置した電磁弁



【図8】モデル園地での生育調査



【図9】さといも栽培講習会



【図10】自家育苗した「媛かぐや」の定植



【図11】市場担当者へ産地をPR

## ○地域特産野菜・花き振興による農家所得の安定

### 1 環境にやさしい施設野菜の推進

#### 【取組】

- ① 土着天敵(タバコカスミカメ)の導入
- ② 土着天敵定着のための温存植物の導入促進

#### 【成果】

- ① 土着天敵導入農家数：9戸 [R5：8戸、R4：7戸、R3：6戸]
- ② 温存植物導入農家数：9戸 [R5：8戸、R4：7戸、R3：6戸]

### 2 地域特産野菜の振興

#### 【取組】

- ① [・さといも(媛かぐや、愛媛農試V2号)の普及拡大に向けた栽培講習会の開催(4、5、6月)[図9]や、セル育苗の導入・防除・かん水等における適正管理の指導
- ② 自然薯栽培における、IPM導入講習会の実施(1回：7月)

#### 【成果】

- ① [・媛かぐや生産者、栽培面積：15戸17a [R5：7戸6a、R4：4戸2a]  
・媛かぐやのセル苗自家育苗：3戸で4,675株を生産[図10]  
・愛媛農試V2号のセル苗育苗：7戸 [R5：5戸、R4：4戸、R3：0戸]  
・さといも疫病の発生数：0戸 [R5、4：0戸、R3：1戸]
- ② IPM導入に関する生産者の関心の高まり

### 3 鉢物生産技術の向上

#### 【取組】

- ① さくらひめ鉢物栽培技術の向上を図るため、個別巡回指導や夏季自家育苗の実証ほの設置
- ② 伊予花き研究会で市場等との情報交換会、定例会、県外視察の実施(市場等との情報交換会[9月]、および定例会[5回]を開催)

#### 【成果】

- ① [・実証を通じて、年内は11月、春出しは4月下旬の出荷が可能  
・生産量：5,400鉢 [R5：10,200鉢、R4：10,400鉢、R3：9,900鉢]  
・生産者数：6戸 [R5,4,3：6戸]
- ② 儲かるモデル産地育成システム確立実証事業を活用し、県外市場の視察と産地PRを実施し、認知度の向上[図11]

## ○地域を代表するブランド商品の産地維持・振興

### 1 「七折小梅」の安定生産

#### 【取組】

- ① R6年産の不作に対応した、定期的な栽培技術等講習会の開催
- ② 栽培者の高齢化に対応した省力化栽培の普及を目的に、省力樹形のせん定講習会を実施（11/18）

#### 【成果】

- ① 栽培技術について生産者の理解が促進（9/30）[図12]
- ② 電動農機具等利用啓発：導入農家（1戸）

### 2 鳥獣被害防止対策の実践

#### 【取組】

- ① 集落ぐるみの対策として中山地区にて研修会等を通じた支援
- ② 地域内での鳥獣被害の実情を共有し、適切な対策・計画の組み立て支援
- ③ 狩猟免許取得の啓発支援（2月：伊予地区農業フォーラム）

#### 【成果】

- ①
    - ・鳥獣管理専門員等と見回り活動を実施し改善点を把握（10月）  
[図13]
    - ・防護柵設置面積：21a [R5：159a、R4：138a、R3：450a]
  - ②
    - ・箱わなの設置（1か所）、センサーカメラによる加害獣種の特定
    - ・被害防止対策協議会（7月）を通じ、課題の検討や情報を共有
- 〔※「中山栗」の課題については、改善策や今後の方向性が明確化されたことから、今後は一般活動にて対応〕



[図12] 七折小梅技術対策講習会



[図13] 集落の見回り点検活動

## ～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携・協力し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や参入企業の掘り起こしと定着支援に取り組みます。また、集落営農組織の育成や法人化を進め、優良園地など地域農業基盤の維持・管理と地域コミュニティの活性化を図ります。

活力と愛顔あふれる農村社会を実現するため、女性の感性や能力を活かした起業活動や農業経営への参画を推進し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。

## ～推進対象や地域づくりの方向～

## ○次代を担う新規就農者の確保・育成と多様な人材の参画支援

### 1 新規就農者の確保

#### 【取組】

- ・サラリーマン等を対象とした休日就農相談会や、個別の就農相談等を通じた新規就農者の確保

#### 【成果】

- ・新規就農者：12人 [R5：10人、R4：7人、R3：5人]
- ・新規就農者のうち、認定新規就農者：9人(うち2人は夫婦)  
[R5：10人、R4：4人、R3：5人]
- ・就農相談会（2月）や伊予農業高校への就農啓発講座を開催(12月)

### 2 新規就農者の定着率向上

#### 【取組】

- ① 新規就農者育成総合対策等利用者等への定着支援（対象：28人）
- ② 野菜づくり勉強会等の開催[図14]
- ③ 補助事業及び資金借入による早期経営安定支援（対象：7人）
- ④
  - ・青年農業者組織活動支援及びプロジェクト課題（1課題）の設定
  - ・先進事例調査（広島市、9月）、ひめカレ生との農作業体験（11月）、愛大留学生のかんぎつに関する意見交換（1月）を実施[図15]

#### 【成果】

- ①～④ 就農3年目の定着率：100% [R5,4：100%、R3：67%]
- ② 野菜づくり勉強会（8月）：4人参加、うち2人を継続的に支援



[図14] 野菜づくり勉強会



[図15] 青年組織先進事例調査

### 3 多様な人材の参画支援

#### 【取組】

- ・農福連携の取組啓発とマッチング支援
- ・集落営農組織に対する農福連携情報の提供とマッチング支援

#### 【成果】

- ・農福連携による雇用が定着（3法人）

### ○優良農地を保全する集落営農組織・農業生産法人の育成

#### 1 集落営農組織や農業生産法人の育成

#### 【取組】

- ・中小企業診断士等を活用した経営相談の推進による経営改善支援

#### 【成果】

- ・集落営農組織（1組織）、農業生産法人（2組織）の経営目標を再設定

#### 2 集落営農の組織間連携による優良農地の保全

#### 【取組】

- ・肥料高騰対策やスマート農業に関する研修会の開催
- ・組織間連携による、効率的な機械運用の推進

#### 【成果】

- ・スマート農業に関する研修会（6月）を開催し、スマート農機の共同利用等、組織間連携意識が向上[図16]

#### 3 高収益作物の導入による経営安定

#### 【取組】

- ① 省力機械の導入による県育成品種さといも「愛媛農試V2号（伊予美人）」の規模拡大の推進 [図17]
- ② [・省力化・効率化に係る研修会を通して、ドローン等の導入啓発  
・ドローン防除実演会を開催（8月）[図18]

#### 【成果】

- ① 生育調査を実施、栽培面積：8ha [R5：5ha、R4：2ha、R3：1ha]
- ② 農業生産法人（2組織）がドローン防除を実施：2.7ha



【図16】スマート農業実演会



【図17】ハイクリアランス農機による防除



【図18】ドローン防除実演会



【図19】食文化普及講座  
（南山崎小学校）



【図20】ほ場巡回研修



【図21】葉れるや視察研修

### ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○女性農業者の仲間づくりと女性が輝く社会の実現

#### 1 地域に根差した食文化の保存・伝承

#### 【取組】

- ① 生活研究協議会による地域の食文化普及活動の支援
- ② 地域の加工品や伝統食・保存食の紹介および継承活動の実施、インターネットを利用した情報発信の支援

#### 【成果】

- ① 学童及び保護者を対象に、えひめ食農教育推進事業を活用した普及講座を各市町で1回開催（計163人〔伊予市、松前町、砥部町〕）し、食文化を普及 [図19]
- ② 伊予地区に伝わる伝統的な食文化や調理方法などを撮影し、YouTubeにて配信予定

#### 2 女性農業者組織の活動支援

#### 【取組】

- ① 女性認定農業者組織「あいネットワーク」の活動支援  
〔経営改善や地域活動に関する視察研修、簿記記帳や経営分析の手法について研修会を開催〕
- ② 一次産業女子グループ「葉れるや」の視察研修等活動支援
- ③ イベント出店やグループ活動支援

#### 【成果】

- ① 「あいネットワーク」ほ場巡回研修（10月）及び経営力向上を支援 [図20]
- ② [・「葉れるや」の県内視察研修（他地区さくらひめ会員との交流会：9月）[図21]  
・販売力を強化するための手書きPOP講習会を実施（1月）

- ③ とべ楽市（5月、11月）等へ出店・参加

## ○地域資源を活用した消費者との交流活動の推進

### 【取組】

- ① 各地区間のGT活動の情報収集と会員の交流支援、促進
- ② 女性起業家の消費者交流イベントへの参加促進

### 【成果】

- ① 先進地事例調査(内子町)及びモニターツアーを実施により改善点を把握(3月)
- ② とべ楽市(5、11月)、松前町産業まつり「たわわ祭」(11月)など、消費者交流イベントへ参加し、消費者ニーズを把握  
[図22]



[図22] とべ楽市への出店

## ～農業用水の安定供給と樹園地再編による優良品種産地拡大～

## ○水田地帯の農業用水の安定確保

### 【取組】

- ① 基幹的水利施設の計画的な更新：1地区(砥部町 銚子ダム)
- ② 農業用ため池の老朽化対策、耐震対策：3地区  
(伊予市吾川地区、宮下新池地区、三秋大池地区)

### 【成果】

- ① 農業用ダムの地震計据付完了：1か所(砥部町 銚子ダム)
- ② 農業用ため池の老朽化対策完了：1か所  
(伊予市吾川地区 市ノ坪池) [図23]



[図23] 農業用ため池の老朽化対策施工状況  
(吾川地区市ノ坪池)

## ○樹園地の再編整備

### 【取組】

- ・ 農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した樹園地の再編整備：1地区(砥部町 砥部地区)

### 【成果】

- ・ 再編整備工事完了：0.5ha(砥部町 砥部地区) [図24]



[図24] 樹園地再編整備の施工状況(砥部地区)

## ～安全・安心な畜産物生産体制の強化に向けて～

## ○高病原性鳥インフルエンザなど家畜伝染病の農場への侵入防止

### 【取組】

- ① 飼養衛生管理基準の遵守徹底を図るための定期巡回指導や、関係機関連携による防疫研修会を通じた、万々に備えた防疫体制強化の促進
- ② 農場HACCP認証維持のため、HACCPチーム員として指導助言の実施

### 【成果】

- ①
  - ・ 9、10月に防疫研修会を開催し、関係者の意識向上と手順を確認 [図25]
  - ・ 巡回指導により飼養衛生管理基準遵守の実効性を確保
- ② HACCP認証の維持(2農場)及び農場指導員資格者を養成し、指導体制が強化



[図25] 防疫研修会

## ○地域環境に配慮した経営体の育成

### 【取組】

- ・ 堆肥の利用状況等に関する聞き取り調査を行い、必要に応じて衛生対策や環境面に対する指導や支援を計画

### 【成果】

- ・ 5戸、8農場の巡回指導を実施、畜産環境(堆肥処理、排水、臭気)及び家畜衛生に対する生産者の意識が向上 [図26]



[図26] 堆肥利用調査